

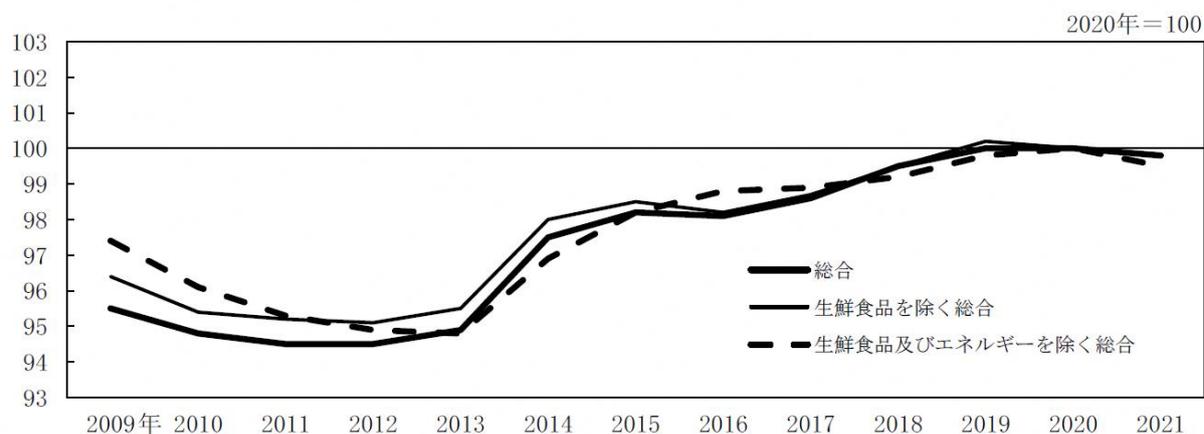
# 西東京市を取り巻く社会経済状況

## 1. データで見る経済状況

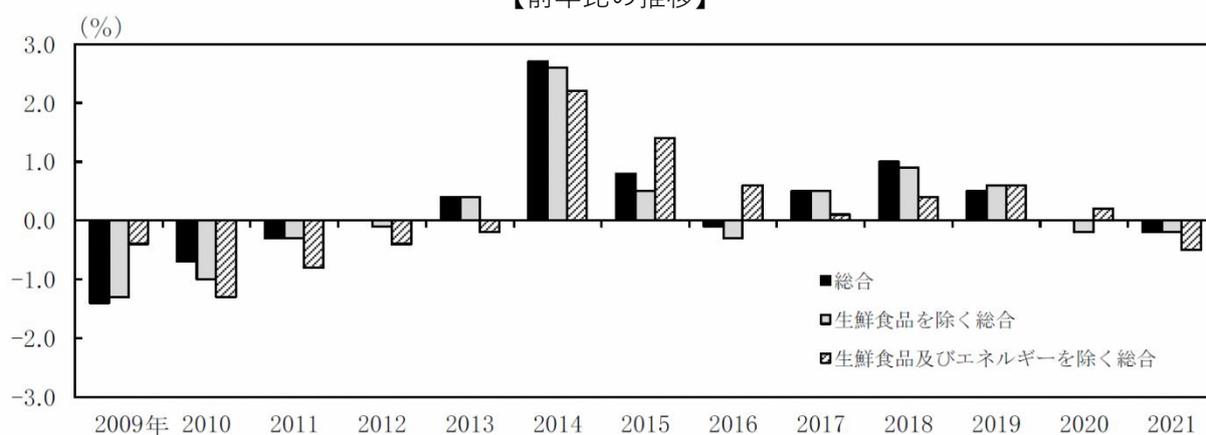
### 【消費者物価指数】

- ・消費者物価指数は、消費者が日常的に購入する段階での商品の小売価格の変動を表す指数で国民の生活水準を示す指標。
- ・2021年は5年ぶりに下落。
- ・2019年以降の主な変動要因は、
  - 消費税率の8%から10%への改訂（2019）
  - 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響（2020）
    - ※旅行者数の減少による宿泊料の下落、「巣ごもり需要」による生鮮野菜や生鮮果物の上昇
  - 原油価格の上昇などによるガソリン、灯油などの上昇（2021） など

### 【消費者物価指数の推移】



### 【前年比の推移】



出典：総務省「消費者物価指数」

## 2. 持続可能な開発目標 (SDGs)

- ・SDGs (Sustainable Development Goals) とは「持続可能な開発目標」であり、2015年9月の国連サミットで全会一致で採択された「**誰一人取り残さない**」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標。

### 【SDGsの17のゴール】



### 【SDGsアクションプラン2021の重点事項】

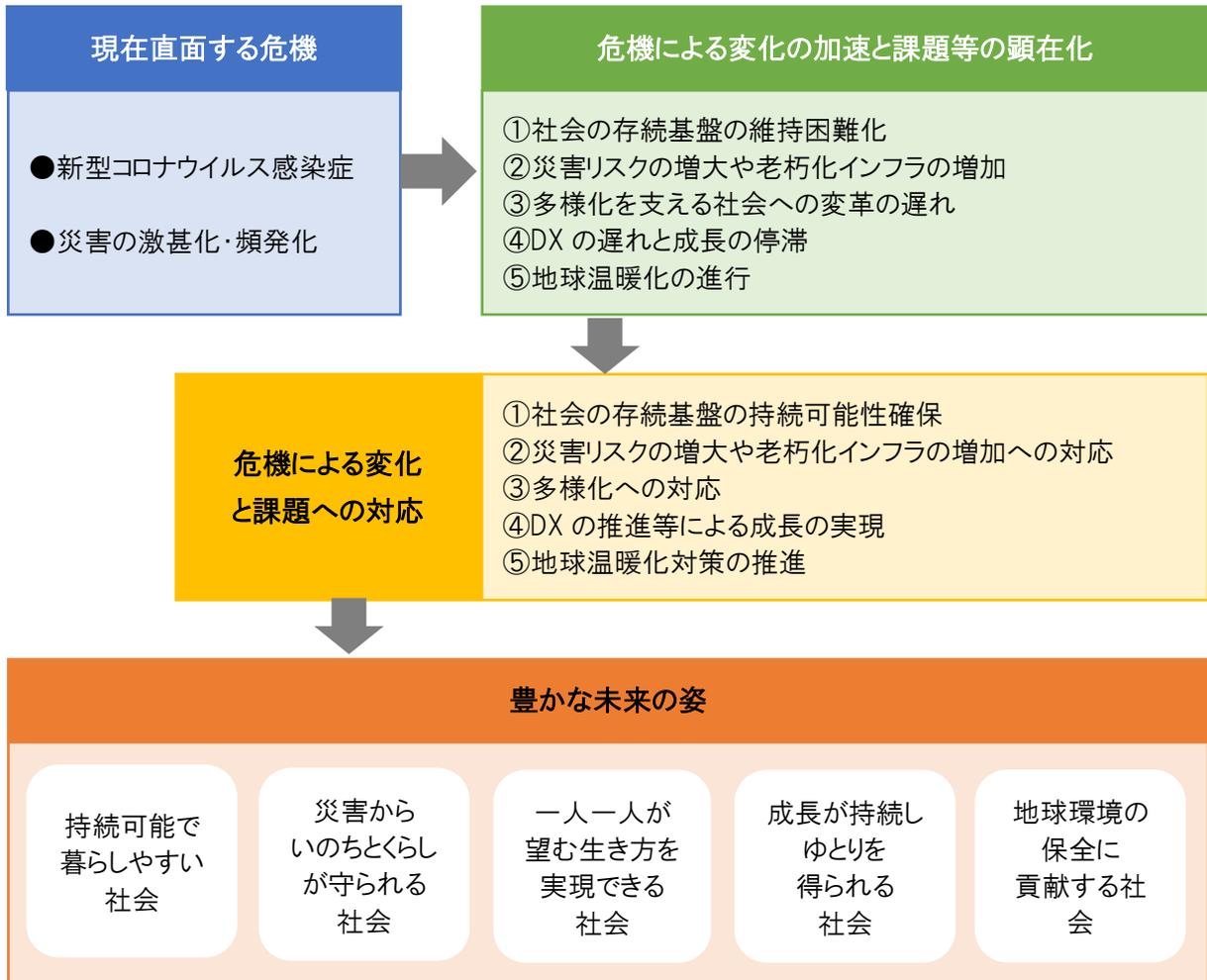
1. 感染症対策と次なる危機への備え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強靱かつ包摂的な保健システムを構築し、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC※) の達成に向けた取組を推進。</li> <li>・分野横断的取組を通じて感染症に強い環境整備を推進。</li> </ul>
2. よりよい復興に向けたビジネスとイノベーションを通じた成長戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルトランスフォーメーション (DX) を推進し、誰もがデジタル化の恩恵を受けられる体制を整備。</li> <li>・テレワークなどの働き方改革を通じてディーセントワーク※の実現を促進。</li> <li>・科学技術イノベーション (STI) を加速化し、社会課題の解決を通じてSDGsの達成を促進。</li> </ul>
3. SDGsを原動力とした地方創生、経済と環境の好循環の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2050年までに温室効果ガス排出を実質ゼロとする「カーボンニュートラル」への挑戦。</li> <li>・防災・減災、国土強靱化、質の高いインフラの推進の継続。</li> </ul>
4. 一人ひとりの可能性の発揮と絆の強化を通じた行動の加速	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆる分野における女性の参画、ダイバーシティ、バリアフリーを推進。</li> <li>・子どもの貧困対策や教育のデジタル・リモート化を進め、次世代へのSDGs浸透を図る。</li> </ul>

※UHC：全ての人々が適切な予防、治療、リハビリ等の保健医療サービスを、支払い可能な費用で受けられる状態。

※ディーセントワーク：働きがいのある人間らしい仕事。

資料：外務省「持続可能な開発目標達成に向けて日本が果たす役割」

### 3. 危機を乗り越え豊かな未来へ（令和3年版国土交通白書）



**持続可能で暮らしやすい社会のイメージ図**

- ①多核連携型の国土（テレワーク、二地域居住など新しい働き方、住まい方を支える）
- ②生活サービスが持続する社会
- ③人の賑わいがある社会
- ④いのちとくらしが守られる社会

**一人一人が望む生き方を実現できる社会のイメージ図**

- ①自由な働き方が可能な社会
- ②多様なニーズを満たす社会
- ③真の共生社会（心のバリアフリー）
- ④対流・交流活発化社会

